

つくし園だより



第156号
2024年
1月1日
発行

発行
児童養護施設
黒松内つくし園
発行人 藤田 剛
〒048-0101
黒松内町字
黒松内 562-1
TEL
0136-72-3033
FAX
0136-72-4066

新年のご挨拶



新年あけましておめでとございませう。保護者様・関係各位の皆様には、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より当施設へのご理解ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

コロナウイルスの話題も次第に落ち着き、昨年5月に5類へと扱いが移行されたことにより施設の行事や学校行事につきましても以前の日常を送れるようになったことでしたが、今までコロナばかりが目立って、なりを潜めていた季節性インフルエンザが猛威を振るい、当施設においても昨年12月初旬から中旬の間で児童の約5割と現場職員の約7割が感染してしまいました。幸いなことに重症化することなく2週間程で終息を迎える事が出来、23日のクリスマス会には5年振りに学校の先生方を招待して実施する事が出来ました。このような状況ではありませんでしたが、お陰様で74名の児童と39名の職員が無事に新年を迎える事が出来ました。

本年は辰年です。辰年は、十二支の中でも最も縁起の良い干支とされており、運氣が上昇して夢が叶いやすい年と言われています。辰は龍竜であり、十二支の中で唯一空想上の生き物です。鳥山明さんの代表作で知らない人は数少ないと思われる、漫画ドラゴンボールでも神龍(シエンロン)として登場するので姿は想像しやすいと思います。

今年は、夢を叶えやすい年である事から子ども達にも以前から伝えていた通り、まずは夢を持って欲しいと思います。昨年10月に本町出身の星様道都大学4年生の滝田一希君が広島東洋カープにドラフト会議で3位指名を受け入団が決定しました。滝田君が来町され各学校を訪問した際に子ども達からの質問に「夢をあきらめずに努力をする事」を話していたそうです。子ども達が夢を持って生活できるように職員一同で取り組み、子ども達の笑顔が絶えない施設運営に心掛けてまいりますのでご家族様や関係者皆様のご理解ご支援を心からお願い申し上げます。

今年一年が皆様にとりまして縁起の良い1年になりますように心からご祈念申し上げ年頭の挨拶と致します。

クリスマスプレゼント



今年もたくさん
のクリスマスプレ
ゼントが届きまし
た。その一部を写
真にて紹介させて
いただきます。
贈って下さった
みなさま、ありが
とございます。



クリスマスケーキ寄贈



12月25日、株式会社上田商会(本社 登別市)に勤める卒園生の滝吉正人さん(平成17年3月卒園)と、同社代表取締役社長 上田朗大様に依頼を受けたサンタさんが、ケーキ76個とお菓子を持ってきて来園して下さいました。

滝吉さんは3歳から18歳までを当園で過ごしました。クリスマスにはわかさいも本舗に勤める卒園生の館洞勝雄さん(昭和40年3月卒園)が一人にひとつずつ手作りケーキを届けてくれ、それをとても楽しみにしていたそうです。しかし平成27年、館洞さんの退職を機に、43年間続いたケーキの寄贈が終わりました。そのことを滝吉さんが上田社長に話したところ、令和元年からは上田商会がケーキを贈って下さるようになります。今年で5回目となります。

幼児と小学生はサンタさんからお菓子を受け取り大喜びでした。



小学生の女の子は「サンタさんからももらったケーキとお菓子がとてもおいしかったです。」と嬉しそうに話してくれました。

クリスマス会



12月23日、クリスマス会が行われました。今回は5年ぶりに小・中学校の先生方をご招待し、法人理事や外国人技能実習生など、30名以上の来賓の方々に参加して下さいました。開会のセレモニーではキャンドル隊が各テーブルを回り、全員で『ぎよしの夜』を歌いました。続く祝会では、幼児さんや有志による歌やダンスの発表、クイズなどが行われ、ビンゴ大会では1位から30位まで様々な賞品が用意されました。最後の職員企画は職員の幼い頃の写真から誰か当てるクイズで、子ども達は大盛り上がりでした。子ども達や来賓の方々には、生チラシやオードブルなどのごちそうを食べながら、会を楽しみました。参加した小学生は「ビンゴ大会でお菓子をたくさんもらいました。職員のクイズは難しかったです。子ども頃のの写真が可愛かったです。」と笑顔で話してくれました。

年末の行事



12月26日、玄関ホールでもちつきが行われました。初めて体験する子どもも多く、杵を重そうに振り上げ、一生懸命おもちをついていました。

28日、まゆ玉飾りが行われました。子ども達は楽しそうにカラフルなまゆ玉を枝に飾りつけました。出来上がったまゆ玉飾りは玄関と食堂に飾りました。

退職者紹介

退職

吉泉 椿 (よしいずみ つばき) 生活支援員



男子棟あさがお室担任の吉泉椿と申します。私事ではございますが、12月10日をもって退職いたしました。至らないところもたくさんあり、ご迷惑もおかけいたしました。が、担任をさせて頂いたことを嬉しく思います。今後子ども達が元気に成長していくことを心からお祈りいたします。

つくし園の1月の予定

- ◆ 1日 元旦
- ◆ 2日 書初め
- ◆ 4日 男子中高生外出
- ◆ 6日 男子小学生外出
- ◆ 7日 すぎな・女子小学生外出
- ◆ 8日 成人の日
- ◆ 9日 女子中高生外出
- ◆ 10日 中2西予市訪問 (～13日)
- ◆ 12日 一時帰省終了
- ◆ 15日 今金高養始業式
- ◆ 16日 黒・白中、白小始業式、長高全校集会
- ◆ 17日 子ども園・黒小・岡高・寿高始業式
白中3年学年末テスト
- ◆ 18日 黒中3年学年末テスト (～19日) 白小書初め大会
- ◆ 19日 寿高2年スキー授業、分校始業式
- ◆ 20日 白小カルタ大会、二セコスキーツアー
- ◆ 22日 白小振休
- ◆ 24日 寿高2年スキー授業
- ◆ 25日 長高3年後期期末考査 (～30日)
- ◆ 26日 子ども園誕生会 黒小5年スキー教室
白小・中スキー学習、岡高3年学年末考査 (～30日)
- ◆ 27日 誕生会
- ◆ 30日 長高3年家庭学習期間 (～2/28) 黒小6年スキー授業

実習生紹介



札幌こども専門学校
大野美咲さん

ご厚志に心より感謝申し上げます。(R5.11.26～12.25)
 <ご寄贈> トドック、中村律子、内藤彰信、武井光秋
 全国シャンメリー協同組合、北海道コカ・コーラボトリング株式会社
 ほっともっと、株式会社ファーストリテイリング サステナビリティ部
 イオン北海道労働組合、日本鏡餅組合、黒松内中学校、黒松内電工社
 株式会社ホクビー、広尾町北方圏交流振興会、富樫玄、小樽 BBS 会
 毎日新聞東京社会事業団、古見出版株式会社、株式会社カプセルゼット
 黒松内小学校職員クラブ、株式会社 BACKSTAGE、(株)セコマ
 北海道漁業協同組合連合会、滝吉正人、株式会社 上田商会
 北海道信用金庫 黒松内支店、黒松内電工社、黒松内保育園
 <ご寄付> 遠藤健次、北海道共同募金会、(有)小間旅館
 北海道新聞社会福祉振興基金、櫻井智恵 ※敬称略
 常勤役員からのご厚志については、
 お名前を控させていただきます。

編集後記

旧年中は大変お世話になりました。新しい年も変わらぬご愛顧よろしくお祈り申し上げます。 瀬尾 康志